

## 猪俣猛セクステット

いのまた たけし

**猪俣 猛** (Dr) 兵庫県出身。16歳でデビューし、20歳で上京。21歳で「スイングジャーナル」誌の新人賞に輝き、「ウエストライナーズ」「サウンド・リミテッド」「ザ・サード」「フォース」などのバンドリーダーを務める。ジャンルを問わないオールラウンドプレイヤーとして第一線でプレイするかたわら、教育面での活動も盛んで、'76に「リズム・クリニック・センター」を設立。国外での活動も盛んで、'94「ジャパン・ジャスト・ジャズ・オールスターズ」を率いてニューヨーク公演を行い、カーネギーホール、アポロシアターなどで大喝采を浴びた。'95、ジャズ界で個人に与える最高の荣誉「南里文雄賞」を受賞。また、シンフォニック・ジャズ・オーケストラを結成し、'97、Bunkamura オーチャードホールにおいてコンサートを行う。'96より前田憲男氏を音楽監督に「THEKING」を結成。浜離宮朝日ホールに於いて日本のジャズの歴史を記録するために「キング・オブ・ジャズ - 21世紀へ贈る」と題し、音と映像の収録を同時進行させたコンサートを2000年12月まで全20回シリーズで行う。21世紀へ贈る貴重なジャズ史を記録し、幅広い分野から高い評価を得ている。同年には音楽生活50周年を迎え、朝日新聞社主催による氏の記念コンサート「リズム&ジャズ」を行っている。現在、(株)アール・シー・シー代表取締役、(社)日本音楽家協会常務理事NHK文化センター主任講師、ヤマハ専属モニター、ジルジャン契約モニターを務める。'96著書「カーネギーへの道」を出版。

うご 茂

**右近 茂** (ts) 神戸市生まれ。上京後、若手には珍しく都会的でオーソドックスにスウィングするテナーマンとして注目を集め、世良譲(P)、北村英治(Cl)、尾田悟(Ts)、西條孝之介(Ts)、五十嵐武要(Dr)、ら大御所ミュージシャンと共演。'96、大ベテランの尾田悟との公開レコーディングセッションが話題となる。'98にはスウィング系テナー奏者として人気を集めているハリアレンとのテナーバトルを演じ、好評を博す。安保徹(Ts)とのテナーデュオ、谷口英治(Cl)グループ等でNHKセッションに出演。また、数少ないクラリネットプレイヤーとしての評価も高く、藤家虹二のCD「We Love Clarinet」にクラリネット奏者として参加。現在、自己のドラムレスカルテットの他、世良譲カルテット、北村英治クインテット、藤家虹二オールスターズ、谷口英治クインテット、酒井潮(Org)カルテット、原田靖(Tb)&シティスウィングーズ、岸三晃(P)カルテット、杉村彰(Tp)&SWING CATS、等多くのグループに在籍。久々に現れた若手モダンスウィング系テナー奏者として全国ライブハウス、コンサート、ジャズフェスティバル等で活躍中。

**片岡 雄三** (Tb) 1967年11月22日東京生まれ、

13才でトロンボーンを吹き始め、高校在学中より「宮間利之とニューハードオーケストラ」に参加。5年の活動した後、平成3年5月に「ニューハードオーケストラ」を退団しフリーとなる。現在、自己の率いる「片岡雄三カルテット」の他、「猪俣猛ジャズテット」「高橋達也セプテット」「渡辺貞夫ビックバンド」「角田健一ビックバンド」「内堀勝ニュー・ビックバンド」「東京ジャズギルドオーケストラ」など様々なグループのレギュラーメンバーとして、ライブ、コンサート、レコーディング、クリニック等、多方面で活躍中。

あおき ひろたけ

**青木 弘武** [Pf] 滋賀県出身。大阪音楽大学卒業後プロデビュー、大隅寿男トリオに参加後独立し、現在都内ライブハウスを中心に活躍中。今までにロン・カーター、ジミー・スミスなどと共演者して、好評を博している。

かとう しんいち

**加藤 真一** (B) '85ドラムスの猪俣猛トリオに抜擢され上京。池田篤、椎名豊を擁した自己のカルテットではオリジナル曲を中心に演奏する。'91には全曲オリジナルの自己のアルバムを発表。'92永住権取得を機にニューヨークに移住。シーラ・ジョーダン、ヘレン・メリル、アキラ・タナ率いるアジア・アメリカンジャズアンサンブル、グレッグ・マーフィートリオ、アーニー・ローレンスグループなど、さまざまなセッションで活躍。'94猪俣の率いるJJJASのツアーに参加。カーネギーホールで演奏。その後メキシコを楽旅。'94年、マイク・スターンを迎えてのリーダーアルバムをリリース。'95帰国。辛島文雄トリオ、'96、木住野佳子トリオで全国ツアー。現在、自己のグループをはじめ、大友義雄グループ、市川秀男トリオ、西直樹トリオ。

**松島 啓二** (Tp) 1967年生まれ。神奈川県出身。13才よりトランペットをはじめ、1988年バークリー音楽大学に留学し、卒業とともにプロ入り。1992年にはインドのジャズフェスティバル「JAZZ YATRA」に大山日出男とともに出演、好評を博した。大森明クインテット、小林陽一グループ等、数々のバンドに参加する他、自己のクインテットでも活動する。

若手ながら歌心のある音色で人気を集め、現在最も注目を浴びているトランペッター。



右近 茂



片岡雄三



青木弘武



加藤真一



猪俣 猛



松島啓之